



Carlit  
Holdings

2024年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）



2024年2月2日

上場会社名 カーリットホールディングス株式会社 上場取引所 東  
コード番号 4275 URL <https://www.carlithd.co.jp>  
代表者 (役職名) 代表取締役兼社長執行役員 (氏名) 金子 洋文  
問合せ先責任者 (役職名) 広報・サステナビリティ推進室長 (氏名) 島田 拓 TEL 03-6893-7060  
四半期報告書提出予定日 2024年2月13日 配当支払開始予定日 -  
四半期決算補足説明資料作成の有無: 無  
四半期決算説明会開催の有無: 無

(百万円未満切捨て)

1. 2024年3月期第3四半期の連結業績（2023年4月1日～2023年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第3四半期	26,905	1.3	2,384	37.0	2,639	31.2	1,859	27.4
2023年3月期第3四半期	26,564	6.2	1,740	△0.9	2,012	3.1	1,459	△15.0

(注) 包括利益 2024年3月期第3四半期 3,230百万円 (100.7%) 2023年3月期第3四半期 1,609百万円 (△17.4%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第3四半期	78.56	-
2023年3月期第3四半期	61.40	-

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2024年3月期第3四半期	53,619	35,838	66.8	1,520.56
2023年3月期	51,230	33,179	64.8	1,402.70

(参考) 自己資本 2024年3月期第3四半期 35,838百万円 2023年3月期 33,179百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期	-	0.00	-	20.00	20.00
2024年3月期	-	0.00	-	-	-
2024年3月期(予想)	-	-	-	20.00	20.00

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無: 無

3. 2024年3月期の連結業績予想（2023年4月1日～2024年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	38,000	5.5	3,150	19.3	3,400	16.8	2,600	15.7	109.43

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無: 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無  
新規 ー社（社名）ー、除外 ー社（社名）ー

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

（注）詳細は添付書類9ページの「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記（3）四半期連結財務諸表に関する注記事項」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数（四半期累計）

2024年3月期3Q	24,050,000株	2023年3月期	24,050,000株
2024年3月期3Q	480,797株	2023年3月期	396,097株
2024年3月期3Q	23,670,659株	2023年3月期3Q	23,771,267株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績の見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する主旨のものではありません。実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる仮定および業績予想のご利用にあたっての注記事項等については、添付資料4ページの「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

（その他特記事項）

該当事項はありません。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	5
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	7
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	7
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	8
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	9
(継続企業の前提に関する注記) .....	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	9
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用) .....	9
(セグメント情報等) .....	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

当社は2022年度を初年度とした中期経営計画「Challenge2024」を策定いたしました。経営方針として「事業ポートフォリオの最適化により企業価値の向上を目指す」を掲げ、その方針に沿った「成長事業の加速化」「研究開発の拡充」「既存事業の収益性改善」「ESG経営の高度化」「事業インフラの再構築」という5つの戦略を推進しています。

これらに加えて2023年5月には経営環境の変化に柔軟に対応することで、中期経営計画「Challenge2024」の達成をより確実とすることを目的にローリング方式にて中期経営計画の見直しを行いました。PBRの向上を目指すため当社のROEおよびPER向上の具体的な施策を追加した中期経営計画「ローリングプラン2023」を新たに策定しています。

### (1) 経営成績に関する説明

#### ①経営成績について

当第3四半期連結累計期間の業績につきましては、新型コロナウイルス感染症による行動制限の緩和により社会経済活動の正常化が進みつつある状況下で、電子材料分野とシリコンウェーハ分野は世界的な半導体需要低迷の影響等を受けておりますが、その他の事業分野についてはいずれも堅調に推移しました。

(単位：百万円)

	前第3四半期	当第3四半期	差異	増減率
連結売上高	26,564	26,905	+341	+1.3%
連結営業利益	1,740	2,384	+644	+37.0%
連結経常利益	2,012	2,639	+627	+31.2%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	1,459	1,859	+400	+27.4%

#### ②セグメント別の状況

第1四半期連結会計期間より事業ポートフォリオに基づく事業領域ごとの経営管理への移行に伴い、各事業領域の投資効率、収益性などを明確にすることを目的に各事業セグメントの担当役員を委嘱し、役員の執行業務、責任範囲の明確化を図りました。経営判断や予算策定を行う管理区分の見直しに伴い、報告セグメントを従来の「化学品事業」「ボトリング事業」「産業用部材事業」「エンジニアリングサービス事業」の4区分から、「化学品事業」「ボトリング事業」「金属加工事業」「エンジニアリングサービス事業」の4区分に変更しています。

なお、前第3四半期連結累計期間のセグメント情報は、変更後の報告セグメントの区分に基づき作成しています。主な製品・サービスの状況は下記のとおりです。

#### 「化学品事業部門」

##### 化薬分野 = 増収増益

- 産業用爆薬は石灰砕石需要の減少に加え原材料価格の高騰などにより、減収減益
- 自動車用緊急保安炎筒は自動車生産の増加に伴い需要が増え、増収増益
- 高速道路用信号焰管は新型コロナウイルス感染症に起因する人流抑制が緩和されたことで需要が増加し、増収増益
- 煙火関連は販売品目の構成見直しなどの取り組みに加え、花火大会の増加などにより収益が良化し、増収増益

##### 受託評価分野 = 増収増益

- 危険性評価試験・電池試験ともに電池開発の活況が継続し、増収増益

##### 化成品分野 = 増収増益

- 塩素酸ナトリウムは紙パルプ漂白用途の需要に対して安定した供給を進め、増収増益
- 過塩素酸アンモニウム（ロケット・防衛用推進薬原料）は防衛用途の需要が増え、増収増益
- 電極は顧客在庫調整およびスポット受注減により減収するも、高付加価値製品の販売が増えたことにより増益
- 過塩素酸は国内外の需要増加により増収するも、原材料価格の高騰などにより、減益

##### 電子材料分野 = 減収減益

- 電子材料関連製品・機能材料関連製品ともに、アジア圏をはじめとする海外需要の低迷が継続し、国内需要も顧客在庫調整などがあり、減収減益。性能向上品や環境規制対応品などの製品開発・営業活動に引き続き注力していく。

セラミック材料分野 =減収減益

- ・新規拡販やシェア拡大を推進するも、国内砥石・研磨布紙メーカーの需要低迷により、減収減益

シリコンウェーハ分野 =減収減益

- ・世界的な半導体需要の低迷を受け、複数顧客の需要の落ち込みにより、減収減益。高平坦度ウェーハをはじめとする高付加価値製品の用途拡大、小口径ウェーハ市場の新規開拓とシェア拡大、既存製品群の生産性向上といった活動に引き続き注力していく。

「ボトリング事業部門」

- ・ペットボトル飲料が個人消費とインバウンド需要の高まりにより、順調に推移。加えて、適正価格の維持およびコスト改善の取り組みにより、増収増益。

「金属加工事業部門」

- ・耐熱炉内用金物は安定的成長と採算性重視を目的とした前期の関連子会社売却、販売品目の構成見直しにより減収するも、適正価格の維持や強みある商品へのリソース集中の推進により、増益
- ・各種金属スプリングおよびプレス品は自動車向け需要の好調により増収するも、建設機械向け需要の減少に伴う販売品目の構成変化や、仕入れ品価格の高騰などの影響により、減益

「エンジニアリングサービス事業部門」

- ・建築・設備工事は工事着工数増加に伴い増収するも、手持ち工事の消化が進まず完成工事利益が減少し、減益
- ・塗料販売・塗装工事は前期に計上した大型スポット案件の反動により減収するも、市場環境全体は好調で増益
- ・構造設計は収益性の高い案件の増加により、増収増益

これらの結果下記のとおりとなりました。

(単位：百万円)

区 分	連 結 売 上 高		連 結 営 業 利 益	
	前第3四半期	当第3四半期	前第3四半期	当第3四半期
化学品	14,967	15,135	1,027	1,277
ボトリング	3,464	3,838	31	424
金属加工	5,572	5,474	342	360
エンジニアリング サービス	2,987	2,951	407	484
小 計	26,992	27,400	1,808	2,547
その他・消去	△427	△494	△68	△162
合 計	26,564	26,905	1,740	2,384

(2) 財政状態に関する説明

総資産は536億1千9百万円となり、前連結会計年度末に比べ23億8千8百万円増加いたしました。これは、受取手形、売掛金及び契約資産が16億2千7百万円増加、投資有価証券が18億1千3百万円増加、棚卸資産が1億6千6百万円増加した一方、現金及び預金が13億7千万円減少したことなどによります。

負債は177億8千1百万円となり、前連結会計年度末に比べ2億7千万円減少いたしました。これは、退職給付に係る負債が7億4千9百万円減少、有利子負債が8億5千7百万円減少した一方、支払手形及び買掛金が13億3千万円増加したことなどによります。

純資産は358億3千8百万円となり、前連結会計年度末に比べ26億5千9百万円増加いたしました。これは、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上等により利益剰余金が13億8千万円増加、その他有価証券評価差額金が12億7千2百万円増加したことなどによります。

以上の結果、自己資本比率は前連結会計年度末の64.8%から66.8%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

米国では、労働市場のヒト不足とサプライチェーンのモノ不足（供給制約）が緩和し、経済活動の正常化とインフレの急速な鈍化が同時進行する予想です。これまでの金融引き締めの影響から、2024年は景気減速するもののマイナス成長は回避すると想定しています。

中国では、不動産部門の調整が長期化する下で2023・2024年と景気減速感が強まる展開です。ASEANなどを含め、半導体サイクルの持ち直しに加え政策金利引き下げや外需回復の影響により2025年に向け回復する予想です。

国内の2024年度は、感染懸念後退に伴うサービス消費・インバウンド需要の回復が一服するほか、海外経済の減速や実質雇用者報酬の伸び悩みを受け、緩やかな持ち直しにとどまる想定です。

上述の経済環境を踏まえ、各報告セグメントの今後の見通しは以下のとおりです。

化学品事業は、半導体サイクルは持ち直すものの当社事業領域である電子材料やシリコンウエーハ等の川上原料の市場低迷は継続するため、需要は2024年度後半に向けて回復していくと予想しています。一方、自動車向け製品や基礎化学品関連製品の販売は堅調に推移する見通しです。ボトリング事業は、インバウンド需要の復調と冬季の飲料消費により増収増益が続くと予想しています。金属加工事業およびエンジニアリングサービス事業については、国内経済動向にあわせ、堅調に推移すると予想しています。

なお、2024年3月期の連結業績予想につきましては、2023年9月11日に公表のとおりです。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	3,966	2,595
受取手形、売掛金及び契約資産	9,957	11,584
商品及び製品	3,056	3,482
仕掛品	514	495
原材料及び貯蔵品	2,309	2,070
その他	2,236	2,456
貸倒引当金	△13	△12
流動資産合計	22,027	22,672
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	8,260	8,246
機械装置及び運搬具(純額)	3,049	2,971
土地	5,868	5,868
建設仮勘定	400	473
その他(純額)	1,319	1,211
有形固定資産合計	18,898	18,771
無形固定資産		
その他	85	142
無形固定資産合計	85	142
投資その他の資産		
投資有価証券	9,066	10,879
退職給付に係る資産	5	21
その他	1,232	1,207
貸倒引当金	△84	△76
投資その他の資産合計	10,218	12,032
固定資産合計	29,202	30,946
資産合計	51,230	53,619

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	5,584	6,914
短期借入金	157	24
1年内返済予定の長期借入金	847	564
未払法人税等	594	441
賞与引当金	676	328
その他	2,168	2,155
流動負債合計	10,029	10,429
固定負債		
長期借入金	941	588
環境対策引当金	5	—
株式給付引当金	—	9
役員株式給付引当金	75	74
退職給付に係る負債	1,218	469
その他	5,780	6,208
固定負債合計	8,021	7,351
負債合計	18,051	17,781
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	2,099	2,099
資本剰余金	1,190	1,190
利益剰余金	25,371	26,752
自己株式	△241	△333
株主資本合計	28,420	29,709
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	4,758	6,030
繰延ヘッジ損益	8	29
為替換算調整勘定	137	169
退職給付に係る調整累計額	△145	△100
その他の包括利益累計額合計	4,758	6,129
純資産合計	33,179	35,838
負債純資産合計	51,230	53,619



(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)
売上高	26,564	26,905
売上原価	20,217	19,875
売上総利益	6,346	7,030
販売費及び一般管理費	4,606	4,645
営業利益	1,740	2,384
営業外収益		
受取利息	0	0
受取配当金	227	233
持分法による投資利益	8	10
雑収入	98	79
営業外収益合計	334	323
営業外費用		
支払利息	45	35
休止設備関連費用	—	24
雑損失	17	9
営業外費用合計	62	68
経常利益	2,012	2,639
特別利益		
固定資産売却益	6	0
投資有価証券売却益	168	117
特別利益合計	175	117
特別損失		
固定資産売却損	0	—
固定資産除却損	2	22
関係会社株式売却損	50	—
特別損失合計	53	22
税金等調整前四半期純利益	2,134	2,734
法人税等	674	875
四半期純利益	1,459	1,859
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,459	1,859

(四半期連結包括利益計算書)  
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)
四半期純利益	1,459	1,859
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	75	1,272
繰延ヘッジ損益	△15	20
為替換算調整勘定	60	32
退職給付に係る調整額	28	45
その他の包括利益合計	149	1,370
四半期包括利益	1,609	3,230
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,609	3,230

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

2023年11月28日開催の取締役会決議に基づき、株式給付信託(J-ESOP)の導入に伴う自己株式131,800株の取得を行ったことなどにより、当第3四半期連結累計期間においては自己株式が91百万円増加しております。当第3四半期連結会計期間末の自己株式は、333百万円となっております。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

なお、法人税等調整額は、法人税等を含めて表示しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自2022年4月1日至2022年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					その他 (注)	合計
	化学品	ボトリング	金属加工	エンジニアリングサービス	計		
売上高							
外部顧客への売上高	14,704	3,464	5,449	2,827	26,446	117	26,564
セグメント間の内部売上高 又は振替高	263	—	122	159	545	1,657	2,202
計	14,967	3,464	5,572	2,987	26,992	1,774	28,767
セグメント利益又は損失(△)	1,027	31	342	407	1,808	762	2,571

(注)「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、持株会社である当社であります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	1,808
「その他」の区分の利益	762
セグメント間取引消去	△830
四半期連結損益計算書の営業利益	1,740

II 当第3四半期連結累計期間（自2023年4月1日至2023年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント					その他 (注)	合計
	化学品	ボトリング	金属加工	エンジニアリングサービス	計		
売上高							
外部顧客への売上高	14,865	3,835	5,361	2,726	26,788	116	26,905
セグメント間の内部売上高又は振替高	270	2	113	225	611	1,688	2,299
計	15,135	3,838	5,474	2,951	27,400	1,805	29,205
セグメント利益又は損失(△)	1,277	424	360	484	2,547	834	3,381

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、持株会社である当社であります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：百万円)

利益	金額
報告セグメント計	2,547
「その他」の区分の利益	834
セグメント間取引消去	△997
四半期連結損益計算書の営業利益	2,384

3. 報告セグメントの変更等に関する事項

第1四半期連結会計期間より、事業ポートフォリオにもとづく事業領域ごとの経営管理への移行に伴い、各事業領域の投資効率、収益性などを明確にすることを目的に各事業セグメントの担当役員を委嘱し、役員の執行業務、責任範囲の明確化を図りました。経営判断や予算策定を行う管理区分を見直したことに伴い、報告セグメントを従来の「化学品事業」「ボトリング事業」「産業用部材事業」「エンジニアリングサービス事業」の4区分から、「化学品事業」「ボトリング事業」「金属加工事業」「エンジニアリングサービス事業」の4区分に変更しております。

なお、前第3四半期連結累計期間のセグメント情報は、変更後の報告セグメントの区分に基づき作成しております。